

平成30年度 新入生の皆さんへ  
～入学式式辞より～

校内の桜は、皆さんの入学を待ちきれないかのように咲き終わり、替わって新緑の若葉が木の枝を彩り始めています。この良き日、島根県立大社高等学校入学式を行うに当たり、ご多用の中、ご臨席を賜り賜りましたご来賓の方々に厚く御礼申し上げます。

ただいま入学を許可した二百八十名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは本日から大社高校の生徒です。皆さんとこれから一緒に送ることになる学校生活を楽しみに、在校生、教職員一同、心より歓迎いたします。本日の初心を忘れることなく、自己の目標に向かって一日一日を大切に努力を重ねてほしいと思います。

さて、皆さんが大社高校生として学校生活を始めるにあたり、私の希望を述べたいと思います。本校の教育目標は「郷土に思いをいたし、こころ豊かでたくましく生き抜く実践力ある人材を育成する」であり、そのもとに「目指す生徒像」を設けています。私の希望は、「目指す生徒像」にある3つのことを意識して励んでもらいたいということです。

目指す生徒像の一つ目は、「自ら考え判断し、協力して課題の解決ができる生徒」です。今、社会は人工知能の発達やグローバル化に代表されるように、変化と多様性に富んだ社会になってきています。先人の知識を習得するだけでは、来る世界に対応することができません。つまり、今まで通りやることが通用しない時代が来ているのです。

自分で知識を習得し、自分の頭で考え、さらに他の人と話し合い、柔軟に知恵を生み出すことが必要になってきます。皆さんは、新しい入試制度である大学入学共通テストを受験する最初の学年でもあります。知識だけでなく、思考力や表現力が重視されます。大学入試においても現実の社会で有用になる力を評価しようとしているのです。今、大社高校では、授業の方法を見直したり探究力をつけるための「総合的な学習の時間」の研究に取り組んでいます。皆さんには、常に課題や驚き・疑問に正面から向き合い、共に学ぶ仲間の考えを聞き、計画的な家庭学習を通し思考力や表現力を身につけてもらいたいと思います。

二つ目は「自己実現を目指してひたむきに努力する生徒」です。自己実現とは自分の夢や目標を実現することです。「夢」を、自分がなりたい職業と考える人も多いと思いますが、私はその先にあるものを考え目指してほしいと思います。つまり自分が将来どのように社会に貢献するかということです。自分が平和で豊かに生活ができればよいということだけでなく、課題をとらえ社会のために自分の能力を生かすことを考えてください。それがひたむきな努力をする上での力強いエネルギーとなるはずです。

三つ目は「大社高校生としての誇りを持ち地域社会に貢献する生徒」です。大社高校は、明治三十一年（西暦一八九八年）に創立し、今年で百二十周年を迎える歴史と伝統のある学校です。本校より巣立った生徒数は二万七千名を超え、多くの先輩が国内外で各方面にわたって活躍しています。大社高校生としての誇りとは、その歴史や伝統に対する誇りでもあり、活躍する先輩たちと同じ学校で学ぶことの誇りでもあります。また、部活動等で活躍する上級生や同級生も誇りとなるはずです。

しかし、それで終わってはいけません。皆さんには、自分の行動や達成したことに基づく「自分に対する誇り」を育んでもらいたいと思います。それは自己の内面から生まれる誇りであり、大社高校生としての真の誇りだと私は考えます。この誇りが自信を生み、人としての品格や人に対する優しさにつながり、自分を取り巻く集団や社会に貢献しようという意欲につながるのです。

今日から高校生として学ぶ皆さん、ともに学ぶ仲間を大切にしてください。仲間をもっとも身近な先生です。仲間が先生であるというのは、持っている知識、学び方、自己管理のしかた、言葉使いや配慮のしかたなどを真似ることができるからです。また、自分と異なる意見や価値観をもつ仲間は、新しい考え方を示してくれる先生です。

「学ぶ心さえあれば、万物これわが師である」といったのは家電業界国内トップであるパナソニックの創業者、松下幸之助さんです。無心の幼児、先輩のきびしい叱責、後輩の純情な忠言など、どんなことから、どんな人からも、謙虚に素直に学びたいと述べています。この心を持ち続けたからこそ、知恵が生まれ起業家として大成功を収めたのだと思います。様々な機会を有効に生かし、この学舎で良き友、良き師に出会い、充実した高校生活を送っていただきたいと切に願います。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。今日まで、暖かい愛情を注がれたお子様の新たな船出にさぞかしお喜びのことと思います。高校時代は、心身ともに成長著しい時期である一方、自立に向け悩みもする時期です。保護者の皆様や教職員の支えを感じる中で、生徒たちは新しいことに挑戦し、仲間と助け合い学んでいくことができます。教育には学校と保護者との相互理解と連携が不可欠です。本校の教職員一同、ここにいる新入生が、三年後、こころ豊かでたくましく生き抜く実践力をもった若者に成長することを励みに尽力します。どうか保護者の皆様におかれましても、温かいご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

未来を担う人材の育成という崇高な使命を自覚し、入学生の皆さんの限りない可能性を祝し、式辞といたします。

平成30年4月10日

島根県立大社高等学校  
校長 吉田 彰二